

2026年3月5日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2026年3月5日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、増加している。輸出は、下げ止まりつつある。設備投資は、増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

こうした中で、生産は、下げ止まりつつある。雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	公共投資	増加している。
	輸出	下げ止まりつつある。
	設備投資	増加している。
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。
	住宅投資	横ばい圏内で推移している。
生産	下げ止まりつつある。	下げ止まりつつある。
雇用	緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

2. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、下げ止まりつつある。

米国向けが関税の影響等から減少する一方、中東向けが増加している。

設備投資は、増加している。

12月短観をみると、2025年度の設備投資計画は前年を上回っている。製造業を中心に、高水準の企業収益を背景として、能力増強投資を行う先が目立つほか、省力化投資や環境関連投資を行う先もみられている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて、弱めの動きがみられている。飲食関連等のサービス消費は、横ばい圏内で推移している。乗用車販売も、横ばい圏内で推移している。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

3. 生産

生産は、下げ止まりつつある。

▽業種別生産動向

鉄鋼	小幅に増加している。
セメント	弱めの動きとなっている。
化学	弱めの動きとなっている。
住設機器	緩やかに増加している。
電気機械	弱めの動きとなっている。
電子部品	横ばい圏内で推移している。
自動車	下げ止まりつつある。

4. 雇用

雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、+2%台前半となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、振れを伴いつつ増加している。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回っている。

以 上